

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年2月7日 (2013.2.7)

【公表番号】特表2012-514260(P2012-514260A)
 【公表日】平成24年6月21日 (2012.6.21)
 【年通号数】公開・登録公報2012-024
 【出願番号】特願2011-543726(P2011-543726)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 3 8 0 N
 G 0 6 F 3/041 3 3 0 B
 G 0 6 F 3/041 3 8 0 G
 G 0 6 F 3/041 3 8 0 H

【手続補正書】
 【提出日】平成24年12月14日 (2012.12.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遠隔制御デバイスのタッチ表面を介した選択タッチ入力に応答して選択可能である制御機能の視覚的表現を、前記タッチ表面を介して表示するステップであって、前記視覚的表現は、選択された時にチャンネルの選択を可能にする数字の表現を含む、ステップと、

前記タッチ表面を介して表示され前記選択タッチ入力に応答して選択可能である前記数字の表現の少なくとも 1 つの上を通る、前記タッチ表面を介して入力されたジェスチャーを受け取るステップと、

前記タッチ表面を介して入力された前記ジェスチャーに対応する制御機能を識別するステップであって、前記ジェスチャーは、表示された前記数字の表現の前記少なくとも 1 つを選択することなく、前記識別された制御機能を示す、ステップと、

クライアントデバイスによる前記識別された制御機能の実行を開始するステップであって、前記クライアントデバイスは、前記遠隔制御デバイスに通信するように結合され、前記クライアントデバイスにブロードキャストされたコンテンツの前記クライアントデバイスによる出力を変更するように構成された、ステップと、

を備える方法。

【請求項 2】

前記制御機能は、前記ブロードキャストにおける複数のチャンネルの或る特定のチャンネルを選択する機能を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ジェスチャーは、1 つまたは複数の数字の入力を示す数字ジェスチャーである請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ジェスチャーは、前記タッチ表面に適用された前記ジェスチャーの長さによる値の増加または減少の相対量を示す請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記増加または前記減少は、前記クライアントデバイスによって出力される前記コンテ

ンツのオーディオの音量と関係する請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記制御機能の前記実行は、出力のための前記クライアントデバイスによって前記コンテンツがどのようにレンダリングされるかを变化させる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記クライアントデバイスは、PVR（パーソナルビデオレコーダー）機能を含み、さらに前記制御機能は、前記 PVR 機能のトリックモードを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記クライアントデバイスは、テレビである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記識別するステップおよび前記開始するステップは、前記遠隔制御デバイスによって実行される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

タッチ表面を介した選択タッチ入力に応答して選択可能である制御機能の視覚的表現を、前記タッチ表面を介して表示するように構成されたタッチ表面であって、前記視覚的表現は、選択された時にチャンネルの選択を可能にする数字の表現を含む、タッチ表面と、

前記選択タッチ入力に応答して選択可能である前記数字の表現のうちの表示されたいくつかの上を通る、前記タッチ表面を介して入力された 1 つまたは複数の数字に類似する 1 つまたは複数のジェスチャーを検出し、前記検出された 1 つまたは複数のジェスチャーは、前記数字の表現のうちの前記表示されたいくつかの選択を生じさせず、

その上を通して前記 1 つまたは複数のジェスチャーが入力された前記数字の表現のうちの前記表示されたいくつかに基づいて制御機能を開始する代わりに、前記検出された 1 つまたは複数のジェスチャーに対応するチャンネルを特定し、

クライアントデバイスが前記特定されたチャンネルに合わせるべきことを指示する、前記クライアントデバイスへの無線通信のための通知を形成する、

1 つまたは複数のモジュールと、
を備える遠隔制御デバイス。

【請求項 11】

前記クライアントデバイスは、前記特定されたチャンネルに合わせて、ブロードキャストを介してコンテンツを受信するように構成されたセットトップボックスであり、さらに

前記タッチ表面は、タッチスクリーンまたはタッチパッドである

請求項 10 に記載の遠隔制御デバイス。

【請求項 12】

前記クライアントデバイスは、PVR（パーソナルビデオレコーダー）機能を含み、さらに前記 1 つまたは複数のモジュールは、前記 PVR 機能のトリックモードを指定する別のジェスチャーを検出するようにさらに構成される請求項 10 に記載の遠隔制御デバイス。

【請求項 13】

前記 1 つまたは複数のモジュールは、前記タッチ表面に適用された別のジェスチャーの長さによる値の増加または減少の相対量を示す前記別のジェスチャーを検出するようにさらに構成される請求項 10 に記載の遠隔制御デバイス。

【請求項 14】

前記増加または前記減少は、前記クライアントデバイスによって出力される前記コンテンツのオーディオの音量と関係する請求項 13 に記載の遠隔制御デバイス。

【請求項 15】

前記 1 つまたは複数のモジュールは、出力のために前記クライアントデバイスによって前記コンテンツがどのようにレンダリングされるかを变化させる別のジェスチャーを検出するようにさらに構成される請求項 10 に記載の遠隔制御デバイス。